



## やりたいことを 実現する教育

### 心 あ つ た か ニ ュ ー ス

宇宙人にメッセージを送りたい「絶滅危種を救いたい」。子どもたちの自由な発想から生まれた疑問に答え、やりたいことを実現しながら学ぶ、京都の放課後学習塾「studio あお」を手がける株式会社COLEYOの代表川村哲也さんにインタビューが。Walkerplusがヤフーニュースにでていました。

新しい文明の教育に必要なことだと思いましたがご紹介しません。震災の後の混乱した世の中では、自分の頭で考える力が無いとまずいという話がたくさん出てきていて。学校で習うような勉強だけでは、問題用紙に答えるだけで考える力は身につかない。それなら勉強を一切教えない、自分のやってみたいことや好きなことが全部できて没頭できる、アトリエのような教室ができたからおもしろいのではないかと、始めたのが放課後教室「studio

あお」でした。このような学習法をPBL問題解決型学習といい、従来のものはSBL教員が教科書に沿って授業を進めていく学習スタイルのことです。科目進行型学習とも呼ばれています。ここでの実際の学習の進め方について触れています。『やりたいことを持つていて教室に行ったら、これをやる！』という子は少ないんです。なので最初はもうちよつとゆるく、今日こんなことがあつてさ』つて子どもたちが話を始めることにヒントがあると思つていて。わざわざ声を出してでも伝えたいことつて、少なからずその子の中にモチベーションが發生しているはずなんです。その話を聞きながら、『なんでそう思つたの？』『それはどうなつたら最高かな？』『それやってみようよ！』と少しずつそのモチベーションを上げて、プロジェクトにしていきます。』そしてこういわれていきます。『みんな基本的には、なにかしたいことがあるはずなんです。そもそも人間がそういう生き物だと思つていて、赤ちゃんの時に寝てればいいのに、立ち上がるとうとするじゃないですか。生まれた時から、自分がやったことないことや見たことないものに

対してのモチベーションにあふれてる。だけど成長の過程で、今は待つて』とか『それはダメ』とか負のフィードバックを返されて諦めさせられることが多い。日本の育て方には『こういう風に育つて欲しい』という基準があるので、それ以外は否定されてしまいがちになるんです』

#### 編集後記

人は進化成長が本能だと私も思います。一人が一人がやりたいことを実現させたら本当に素敵な社会になりそうです。最初の宇宙人にメッセージ、絶滅種を救うを見たときに純粹な気持ちに触れ元気が出てきました。来月もこの続きを書いています。きたいと思ひます。